

●平成16年度日本生理学会第1回常任幹事会議事録

日 時：平成16年6月1日午後1時—5時

会 場：ホテルライフオーブ札幌

出席者：青木 藩，福島菊郎，赤池 忠，丸山芳夫，城所良明，貴邑富久子，野村正彦，板東武彦，今泉和彦，小西真人，佐久間康夫，本間生夫，御子柴克彦，宮崎俊一，川上順子，岡田泰伸，久場 健司，水村和枝，曾我部正博，西野仁雄，大森治紀，彼末一之，高木 都，野間昭典，津本忠治，松尾 理，丸中良典，梶谷文彦，前田信治，松井秀樹，辻岡克彦，徳田雅明，今永一成，河南 洋，吉村 恵，小杉忠誠，久保義弘，奥村 哲（小泉 周代理，若手の会代表），金子章道，栗原 敏，倉智嘉久，本間研一（当番幹事），當瀬規嗣（当番幹事），丹治 順（次回当番幹事）

欠席者：泉井 亮，香山雪彦，山岡貞夫，洪木克栄，宮下保司，岡野栄之，篠田義一，持田澄子，伊佐 正，福田敦夫，能勢 博，小泉 周

報告および協議事項

1. **会長挨拶**：金子会長から出席者に対し謝辞が述べられた。引き続き、生理学の復権を目指す今期の活動方針が述べられた。

2. **庶務報告**：金子会長から会員に関して平成16年5月末日現在で一般会員3171名，特別会員27名，名誉会員10名，準会員124名，賛助会員29名であることが報告された。

山田科学振興財団研究援助に伊藤功氏（九州大学），真鍋俊也氏（東京大学）を推薦したことが報告された。

3. **財務報告**：宮崎財務幹事から平成15年度会計の決算報告が行われ，栗原会計監事より会計監査を行ったところ適正に行われていることを確認した旨報告され，決算は承認された。なお，平成16年度予算について宮崎財務幹事より説明があり原案通り了承された。

4. **編集・広報委員会報告**：岡田編集・広報幹事から日本生理学雑誌に関して，原著，短報の掲載を止めたこと，表紙をリニューアルして会員の研究成果に関連した図，写真で飾ることにしたこと，Science Topicsコーナーを新設し，テキストのみを掲載し始めたことが報告された。また，HPのトップページを外注によってリニューアルし，一般向けの内容としたこと，日生誌もPDF版としてPSJ—Webからの閲覧を可能にしたこと，PSJ—Web記事の更新情報を

メールリストで送るようにしたことが報告された。

PSJ—Web会員サイトのトップページのリニューアルとディレクトリーの統廃合にあたり，外注の許可が求められ，了承された。

5. **JJP編集委員会報告**：野間委員長からJJPの編集・発行状況についてJJP投稿から受理までの日数を短縮したこと，却下率が上昇したことが報告された。例年採択されていた学術振興会からの刊行助成金申請が書類上の不備により今年度は採択されなかったことが報告され，緊急に対策をとることが求められた。

今年度の入澤賞は「Matsuoka et al : Role of Individual Ionic Current Systems in Ventricular Cells Hypothesized by a Model Study」に決定したことが報告された。

6. **評議員選考委員会報告**：貴邑委員長より平成16年度評議員候補者を検討し常任幹事会には25名を推薦することとなったことが報告された。審査の結果，25名全員を評議員会に推薦することになった。

7. **選挙管理委員会報告**：小西委員長から平成16年3月に行った科研費審査員候補選挙結果，及び5月に行った常任幹事改選の結果が報告された。

8. **教育委員会報告**：河南委員長から札幌大会において「現在の学生に生理学をどう教えるか」のタイトルでシンポジウムを企画していること，次期委員

長は今までの選出方法を改め、常任幹事会で選出することにしたこと、今後の教育委員会の活動方針について報告があった。

9. 学術・研究委員会報告：大森委員長から大会における英語化スケジュールを今後共推し進めてほしい旨述べられた。大会参加費の特例について、大会参加費は大会当番幹事の裁量で決定できるがある一定のガイドラインがある方がよいとの提案「院生は半額、学部学生は予稿集の実費程度、非会員のシンポジストは無料」があった。当番幹事の名称を改め、「大会長」としてはどうかとの提案があり、仙台大会から実施されることとなった。尚、当番幹事が複数名の場合は当事者が協議のうえ代表1名を大会長、他を副会長とすることで承認された。

10. 研究倫理委員会報告：板東委員長から動物愛護管理法改訂の準備がなされており、順調にいけば来年5-6月には成立の運びとなること、学術会議実験動物研連で省庁認可の法人による第三者評価・認証制度を検討し第7部へ提案したこと、第7部はこれを報告として公表する準備をすすめていること、札幌大会において研究倫理委員会シンポジウムを開催すること、PSJ-Webに動物実験に関する生理学学会アピールを掲載したことが報告された。

11. 将来計画委員会：高木委員長から、PSJ-Webの一般向けトップページにキャッチフレーズと生理学の説明をイラスト入りで掲載したこと、UMINで年次総会抄録を公開し学際化のため会員研究をデータベース化したこと、札幌大会の終わった後に大学学部学生、修士課程学生などによる研究発表会（スチューデントサイエンティストプログラム-SSP）を開催する予定であることが報告された。PSJ-Webを英語化してはどうかとの提案がされたが現在必要なものは英語化されているし総てを英語化する必要はないのではないかとの意見があり現状のままとなった。

12. 男女共同参画推進委員会：水村委員長からアドバイザー制の導入に向けて「メンター制度についての勉強会、女性研究者がメンター制度に望むこと」と題したワークショップを札幌大会会期中に開催す

ることとなったこと、昨年実施された「21世紀の多様化する科学技術研究者の理想像—男女共同参画推進のために」のアンケート結果がまとまり学・協会連絡会のHP (<http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/>) から見られること、札幌大会でも保育室を設置し5月始めの段階で申込がのべ23名（6家族）あったことが報告された。

13. 賞選考委員会報告：久場委員長から平成16年度の奨励賞受賞者候補として高橋倫子氏（生理学研究所生体膜部門）「インスリン開口放出機構の解析」を選考した旨報告があり承認された。

14. 生理学若手の会：若手の会代表奥村氏から国内外の著名な生理学者にインタビューし記事を日生誌に掲載する企画があり、第1回目としてErwin Neher氏にインタビューを行い若手の会web及び日生誌第66巻3号に掲載したこと、札幌大会において若手の会シンポジウム「生理学は心脳問題をいかにとらえるべきか？」を開催すること、SSP（Student Scientist Program）若手合宿を実施すること、また、今年もサマースクールを予定していることについて報告があった。

15. 日本医学会報告：今永評議員から2月に開催された医学会定例評議員会について報告があった。新会長に高久史麿氏、副会長（基礎）岸本忠三氏、副会長（社会）小泉 明氏、副会長（臨床）出月康夫氏が選出されたこと、生理学関係では第一部幹事、広重 力氏が平成16年3月31日で任期満了となるが、時期幹事は新会長の指名に委ねられること、第27回医学会総会は会頭岸本忠三氏（大阪大学前総長）の元、平成19年4月6—8日に大阪国際会議場、大阪城ホールにおいて開催される予定であることが報告された。

16. 日本学術会議生理学研連連絡委員会報告：金子委員長から第19期生理学研連委員長に金子第7部会会員を選出したこと、幹事に板東、岡田、水村の3氏を選出したこと、実験動物研連委員会提案の「動物実験施設の第三者評価制度」設立について生理研連としては賛同することになったことが報告された。また、日本学術会議法の一部を改正する法律に関し

て、会員の選考方法が変わること、7部制から3部制に変わること、研究連絡委員会を廃止し連携会員を新設すること等の説明があった。

17. 第36回IUPS Congress組織委員会報告：金子委員長より2005年IUPS総会へ提出する日本からのProposalの作成は12月完成を目指し進めること、栗原財務委員長より支援金の寄付状況と財務スケジュールについて説明があり心臓財団を介しての寄付金は800万円になったこと、支出に関してはIUPS2009事務局から一括して出費すること、IUPSランチョンセミナーの共催費を使用して「生理科学研究者史」を編集することが報告された。

18. IUPS・FAOPS報告：金子IUPS第一副会長から2005年4月のIUPS Congressの際にIUPSからUS\$25,000をYoung Investigators Awardとして若手の参加者に援助することになったことが報告された。

FAOPSに関して2003年度のRegional Symposium/Workshopの応募に対して3件の応募があり、この中から日本生理学会国際交流委員会から応募のあった日韓合同シンポジウムが採択されUS\$3000が交付されたこと、2006年に韓国において第6回FAOPS Congressが開催されることが報告された。

19. 第82回日本生理学会大会（仙台大会）準備状況の報告：丹治当番幹事から、会期は2004年5月18日ー20日、会場は仙台国際センターで行う準備が進められていること、発表形式はシンポジウムとポスターとすることが報告された。

20. 第81回日本生理学会大会（札幌大会）報告：青木当番幹事からJJP Supplementが大会前に全会員に配布されたこと、演題数は特別講演1題、教育講演9題、シンポジウム183題（41タイトル）、ポスター731題で合計924題になること、参加者は5月24日現在で1359名であることが報告された。

議題

1. 前回議事録の承認：原案通り承認された。

2. 会長、財務幹事、編集・広報幹事、各委員長の選出：投票により会長、財務幹事、編集・広報幹事を選出した。また、各委員長については3専任幹事が

ら提案があり、承認された。

常任幹事会

（平成16年6月～平成18年改選時迄）

会 長	金子 章道
財務幹事	本間 生夫
編集・広報幹事	岡田 泰伸

会計監事	栗原 敏
会計監事	明間 立雄

JJP編集委員会委員長	野間 昭典
評議員選考委員会委員長	持田 澄子
選挙管理委員会委員長	川上 順子
会則委員会委員長	城所 良明
教育委員会委員長	松尾 理
学術研究委員会委員長	久保 義弘
研究倫理委員会委員長	板東 武彦
国際交流委員会委員長	大森 治紀
将来計画委員会委員長	前田 信治
男女共同参画推進委員会委員長	水村 和枝
賞選考委員会委員長	久場 健司

第82回日本生理学会大会当番幹事（平成17年度）

丸山 芳夫
丹治 順

日本学術会議第7部生理研連委員長	金子 章道
日本医学会評議員	篠田 義一
連絡委員	宮崎 俊一

3. 平成16年度予算案について：宮崎財務幹事から説明があり、原案通り承認された。

4. 特別会員の推薦について：島津 浩氏、星 猛氏についてそれぞれ経歴、推薦理由等簡単な説明があり審議の結果、評議員会・総会に推薦することになった。

5. 日本医学会評議員，連絡委員，用語委員の選出について：金子会長より，評議員に篠田義一幹事，連絡委員に宮崎俊一氏，用語委員に植村慶一氏を推薦したいとの提案があり，了承された。

6. 第83，84，85回大会開催地について：金子会

長より，平成17年以降の大会開催地について，平成18年第83回は群馬，平成19年第84回は大阪，平成20年第85回は東京で開催されることが提案され，了承された。